



【神の約束された成功と繁栄への招待状】

聖書本文：ヨシヤ記1章1-9節/暗唱聖句：ヨシヤ記1章7節

説教者：鄭南哲牧師

(Rev. Jung nam-chul)

アメリカ人ですが、とっても独特な人生を過ごした一人の方の話をさせてください。彼は22歳に人生初めのビジネスに失敗します。次、23歳に地方の議会選挙に立候補しますが、落選します。24歳にふたたび、ビジネスに挑戦しますが、また失敗の繰り返しになります。34歳にもう一度地方の議会選挙に挑戦します。しかし、また失敗してしまいます。38歳に衆議院選挙に挑戦しますが、また落選します。43歳に再び、衆議院選挙に挑戦しますが、また落選です。46歳には上院議員選挙に挑戦しますが、また落選です。47歳になる年に、副大統領選挙に挑戦しますが、また落選です。また49歳になる年にもう一度上院議員選挙に挑戦しますが、落選です。しかし、51歳になる年であった1860年彼はついにアメリカの16代目の大統領として当選されます。彼の名前はエイブラハム・リンカーン(Abraham Lincoln)です。彼の友達がリンカーンに大統領の当選お祝いのあいさつをかわしながら、こう言いました。“あれほどたくさん失敗したのに、やっと成功しましたね。”すると、リンカーンは彼の独特の笑顔でこう答えたそうです。“失敗なんて、私に失敗したことはないのです。わたしに成功とは私に対する神様の計画が成就されることなのです。ですから、今までなめた苦杯は神の計画が実現されるためプロセスであり、それも成功のための大切な経験の蓄積にすぎません。”エイブラハム・リンカーン！彼は自分の人生の成功を、自分の願い通りではなく、神様が計画された通りなることとだと言う信仰で走って来た人であることが分かります。

今日聖書本文の箇所には成功に対する神様の約束があります。7節です。「ただ強くあれ、雄々しくあれ、わたしのしもべモーセがあなたに命じた律法のすべてを守り行うためである。これを離れて右にも左にもそれではならない。あなたが行く所どこでも、あなたが栄えるためである。」今日の本文で、“栄える”という単語は大体の英語の聖書では“you may prosper”(繁栄する)と訳されています。ある翻訳には“you may succeed”(成功する)”とも訳されています。ですから“栄える”という単語の代わりに“成功”という単語を使っても間違ってもいません。

もちろん、こんにちこの成功と言う単語はとっても世俗的(せぞくてき)な意味で使われていることは事実です。しかし、ヨシヤ記に記されている栄える、もしくは成功と言う単語の意味に対し、ある旧約学者は「我々の人生において神様が計画された通り成就すること：だと定義しました。ですから一人一人への神の御心があり、神の御計画があります。聖書はその御心とご計画が神の思われるどおりに成就されることが人生のまことの成功、もしくは誠に栄えることだと聖書は教えています。願わくは今年2021年の間にもみなさん一人一人に向う神様の御心と計画すべてがかなえられ、成功し、足りないところなく全てが満たされ、溢れる栄えを体験して行く一年となりますように切にお祈り申し上げます。」

今日の本文の主人公であるヨシヤには神から与えられた課題がありました。それは、イスラエルの民がエジプトから出て、40年間の恐ろしい荒野の険しい旅を経て、ついに神の約束されたカナンの地を目前にしておいた状態に置かれていた状況でした。これからはイスラエルの民を導いて神の約束の地カナンに導き入れ、彼らとその約束の地で定着できるように助けること、それがこれからヨシヤに与えられていた神からの重要な任務と責任でした。

ところが、ヨシヤにとっては、今まで一番頼りにになっていたイスラエルの偉大な指導者であったモーセが亡くなり、突然、去ってしまったモーセの不在の中で新しく指導者として立てられたばかりのヨシヤだったので、今までリーダーとしての十分な経験も、霊的な経験も準備する時間や余裕のないままで指導者となっていました。ヨシヤはモーセが持っていた強烈なカリスマもありませんでした。まだ、200万人以上の民たちに指導者として信頼されているわけでもありません。ですから、彼はこれからの新しい歩みと環境、立場についてとても心の不安と恐れを感じていた時だったのではありませんか。

しかしそんなヨシヤを用いるために召して下さった神は、ヨシヤに人生の成功と繁栄を約束されます。そして今日の我らにも不安と恐れの中にあっても、さらに神に用いられ、与えられる人生の成功と繁栄される秘密を教えてくださいます。ですから、今日聖書の本文は“神から我らへの人生の成功と繁栄への招待状”だとも言えるでしょう。なぜなら、今日ヨシヤに与えられた御言葉はヨシヤだけに適用されるのではなく、あらゆる時代を生きていくすべての神を信じる人にも同じく適用される御約束の御言葉です。今日の聖書本文が教えている神から人生の成功と繁栄をもたらす体験出来る具体的な方法として、神はヨシヤに二つのことを命じて下さっています。

①一つ目は、あなたの心を強く、雄々しくあれ！

我々は自信感がなくなり、弱くなって来ると、急に不安になり、恐れが我々を支配して来ます。一旦、恐れが我々の人生や思いを押し寄せて来ると、我々の意識世界は混乱と複雑になり、瞬間的に麻痺され無気力になりやすくなります。正常に考えることも、冷静に見分け、判断することも難しくなります。まさに、ヨシヤがそのような心

の状態だったと考えられます。急に神の大指導者だったモーセの代わりに、次の指導者として選ばれたヨシュアにとって、その重大な責任とプレッシャーが心に覆われていたことをご存じだった神は、そういうわけで、聖書は心を強くし、雄々しくあれ。と命じながら同時に恐れないようにと強調して下さっています。おどろくことは聖書全体に恐れはいけないという御言葉が何回くらい出てくるのか御存知ですか。正確に365回です。神はヨシュアだけではなく、我らをも1年365日日々、恐れないようにと命じ、教えて下さっているのです。しかし、問題はどうやって恐れなくていられるのかでしょう。そして、どうすれば自分の心を強く、雄々しく守ることができるのかが大切です。神は単に、無条件的に恐れなくて、心を強くしなさいと命じてくださったわけではなく、そう出来るように、その具体的な方法もまた教えて下さっています。それは二つの姿勢を持つことによるのです。

①どんな時にも、いつまでも神が私とともにおられると信じ、抛り頼む信仰の姿勢

その当時、イスラエルの民の英雄であり、絶対的な指導者はモーセでした。

神様はこれからの新たな歩みに対し、プレッシャーで、不安で、恐れているヨシュアにこう語っておられます。

「あなたの一生の間、だれ一人としてあなたの前に立ちはだかる者はいない。わたしは、モーセとともにいたように、あなたとともにいる。」(5節)と約束して下さっています。

神様は今まで、絶対的なリーダーの存在としてあんなに大いに、偉大に用いられるモーセがモーセになったのはモーセの優れた能力やそれほどの特別な資格があったからではなく、全能なる神御自身がモーセといつもともにおられ、偉大に用いて下さったからこそ、あの偉大なモーセとなられたわけであります。その神様がヨシュアに一生の間わたしがモーセと一緒にいたように、これからはあなたとともにおられることを約束して下さっているのです。

今日我らも、その全知全能の神様が、これから一生の間、どんな時にも我々といつもともにおられるなら、何を恐れることがあるのでしょうか。しかし、我らの心が不安や恐れに覆われ、動揺している理由は、その神様を忘れていたのか、共におられる神の約束を信じ、抛り頼んでないためではないでしょうか。

神を信じる民たちにこの地上で頂ける最高の特権があるなら、救われるだけではなく、実際にその神様が我らとともにおられ、我らは神様と共に生きる事が出来ることだと信じます。

創世記(Genesis) 28章15節「見よ。わたしはあなたとともにいて、あなたがどこへ行っても、あなたを守り、あなたをこの地に連れ帰る。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない。」
イザヤ書41章10節「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。たじろぐな。わたしがあなたの神だから。わたしはあなたを強くし、あなたを助け、わたしの義の右の手で、あなたを守る。」

マルコ福音書4章35-41節に、イエス様と舟に乗って向こうの岸へ渡ろうとしていた時、激しい嵐や荒波が襲った時、彼らは恐れ、暴れていましたが、寝ておられたイエス様はその嵐と大波を静まらせてから、弟子たちにこう叱って下さいました。

40節に「どうして怖がるのか。信仰がないのはどうしなのか。」と叱られました。なぜでしょうか。

神の御子イエスキリストが今、弟子たちと一緒に舟に乗っておられるのにも関わらず、目の前に起こっていることに心のすべてが捕らわれてしまっていたわけであります。イエス様が同じところにもおられても、抛り頼めば良いのに、信じて委ねれば良いのに、弟子たちはイエス様と何の関係のない方のように後回しに、もういない存在かのように恐れていた弟子たちの振る舞いのご覧になったイエス様は、それは、信仰がないからだ指摘して下さいました。

愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰の家族のみなさん！実は、私達も、明日から始まる3月中、今年一年中の人生の舟に共にイエスキリストが乗っておられるのにも関わらず、神様に信じ、頼らず、ずっと目の前の問題や出来事ばかりに心すべて捕らわれやすい者であることを認めるのでしょうか。

弟子たちと変わりなく、我らも、仕事の忙しさや様々な問題に心が捕らわれ、共におられる神の存在さえも忘れ、いつも共におられる神に対する信仰と抛り頼む信仰の姿を失ってしまう過ち、繰り返さないように共に気をつけましょう。

愛する信仰の家族のみなさん！イエス様がどうしてこの地に来られたのでしょうか。新約の始めの福音書であるマタイの福音書1章で御使いが神の御子イエス様のご誕生を予告しながら、生まれる救い主イエスキリストのあだ名を何だと伝えてくれましたか。それは「インマヌエル」つまり、「神は我々とともにおられる。」という意味でしょう。神様のひとり子が人の子としてこの地に来られた理由は我々とともにおられるためでした。全能者なる神様は我々の人生において具体的にともにおられるために肉体の体をもってこの地に来られたのです。マタイの福音書の初めだけではなく、最後の章である28章20節でイエス様は「見よ。わたしは、世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」と言われました。信じる全ての者とともにおられるためにこの地に来られた神の御子は天に上りながら与えて下さった最も大切な御約束のお言葉です。

その神の約束は世の終わりまで！我々とともにおられるということ。その全能なる神様がどんな状況にあっても、一生いつもともにおられるという約束を握り、忘れずいつも心から信じる時こそ、我々はさらに強くなる事が出来るでしょう。まずは、始まった3月が終わるまで、今年が終わるまで、みなさんの人生が終わるまで、みな

さんの心が恐れず、不安になれず、揺るがず、さらに強くなって行くために、みなさんとすでに共におられる神様、御子イエスキリスト、聖霊の神を是非忘れないで下さい。それによって、みなさんの心がさらに強くされ、成功と繁栄に導かれますように切にお祈り申し上げます！アーメン！

②神のご計画と約束は必ず成就され、具体的に実現されるのを信じる信仰の姿勢

神様はヨシュアにどんな約束をされましたか。具体的に地に対する約束をしてくださいました。今日の本文の3-4、6節を読んで見ましょう。「3わたしがモーセに約束したとおり、あなたがたが足の裏で踏む場所はことごとく、すでにあなたがたに与えている。4あなたがたの領土は、この荒野からあのレバノン、あの大河ユ-フラテス川まで、ヒッタイト人の全土、日の入る方の大海までとなる。6強くあれ。雄々しくあれ。あなたはわたしが父祖たちに与えると誓った地を、この民に受け継がせなければならないからだ。」

神の祝福の約束には抽象的な物ではありません！神の祝福の約束は具体的なものであり、神の計画があるのです！今日の本文では、神の祝福は信じ、従って来たご自分の民を、約束されたカナンの地にヨシュアを通して導き入れ、神の祝福と繁栄の約束が実現されるように具体的なあらわしとして、地を与えて下さいました。

(*旧約時代の神によって与えられる地の意味：命と生活基盤・働く機会・所有と財産の繁栄・収穫と刈り入れの生産の豊かさと祝福の象徴的な物)神は、ご自分を信じ、従う者たちに必ず、祝福と報いを具体的な計画と約束の成就を通してなして下さるお方であられます。神は今日ヨシュアを神の約束されたため計画を成就させる道具として用いられようとしているのです。

神様が今も信じ従うすべての具体的に計画を持って祝福の約束を実現してくださいます。地を与え、その領域と地境を広げ、定めて下さったことは、これからのすべての命と生活の基盤と土台を守らせ、働くすべての手の業に豊かな報いと刈り入れを与えつつ、所有と財産にも繁栄させ足りない物がないように満たして下さるという具体的な祝福の成就と実現させる神の御業の内容が詳しく記されています。

ですから、神の御約束はかならず、具体的に成し遂げられることをみなさんは信じていますか。

みなさんも、神様を心から信じ、従って生きているならば、みなさんに対する具体的な神は祝福の約束を持っておられことと、みなさんにその計画を持って必ず具体的な体験出来る形として、見える形として実現して下されるお方であることを信じ、絶対忘れないで頂きたいと願います。

その神様が祝福のご計画を立たせ、それを成就するための道具として、ヨシュアを用いて下さったように、みなさんも主が用いようとしておられることを覚えて頂きたいと願います。

みなさんの人生において神の祝福と報いの為、確かな計画と目的があることを信じますか。そして神様はそのご計画が御心通りに具体的に成されるために、みなさんをかならず用いてくださることを3月中にも信じて下さい。

みなさんの持っている夢と計画が単なる神様と関係のない、自分の欲望に過ぎないことであるなら、我々は何の確信も、手に入れることはできないかも知れません。しかし、それが祈る中で、御言葉を通して、みなさんに与えられた計画や確信が与えられたなら、必ず、みなさんを神は助けて、みなさんを通して、その御業をなし、体験させてくださると信じます！

ですから、必ず、主から与えられ、主が喜ばれ、聖書の御言葉に従った行いと歩み、働き、機会であるならば、しばらく問題があり、大変で疲れてもあきらめないで下さい。神様はその計画の成就の道具となられるみなさんをお助けして用いて、具体的にその祝福と報いを体験させてくださいますから。神ご自身がみなさんと共におられ、みなさんの味方となり、みなさんのために、主が具体的に働いて報いてくださることを実際生活の中で体験出来るような形として与えて下さると信じます。

問題はどうやって恐れないでいられるのかでしょう。そして、どうすれば御言葉通り、自分の心を強くなり、雄々しく保つことができるのか、ヨシュアに具体的に2点、つまり、①いつでも、どんなときにも我々とともにおられる神を信じ、拠り頼む姿勢、②神のご計画と約束は必ず成就され、具体的に実現されるのを信じる信仰の姿勢を保つ時にこそ、臆病で弱気我らの心が強く、雄々しくなり、常に保つことが出来ると信じます。

②神の御言葉から離れず、御言葉通りに生きる

人生の成功と繁栄への秘密は二つ目は、神様の御言葉を徹底的に掴んで御言葉通り守り行って生きることを勧められ、命じられています。本文の7-8節では「律法」と「このみおしえの書(新改訳3版では、律法の書)」という単語が出ています。ここでの律法もしくは、律法の書は十戒を指す狭い意味での律法ではなく、「神の全体の御言葉を意味する」広い意味の律法であります。イスラエルの民たちは神様の御言葉全体を言う時、それを「律法」もしくは、トラとも言いました。ですから「律法の書を離れないで」ということは分かりやすく言うと「聖書の神の御言葉から離れないように」という意味です。栄える、成功の人生を望んでいる全ての人なら、神の御言葉から離れず、しっかり、つかんで生きなさいということです。この世には数多くの本が出版され、読まれています。たま

しいの救いを神が約束され教え与えて下さったのは、たった一冊の書、神の御言葉なる聖書しかないことをご存じでしょう。

！あの永遠のいのち、神の御国に対する望みを約束し、得られる道を神が教えて下さっているのはたった一冊の書、神の御言葉なる聖書しかないことをご存じです。いますぐ死んでも神様の御国に入れると言う確信を約束して下さっているのはたった一冊の書、神の御言葉なる聖書しかないことをご存じです。ねじれた人生と苦しみを覆っている人々に向って、解放と回復と人生の変わりと希望を約束してくださっているのはたった一冊の書、神の御言葉なる聖書しかないことをご存じでしょう。「あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思うので、聖書を調べています。その聖書が、わたしについて証言しているのです。(ヨハネの福音書5章39節)」、「あなたのみことばは私の足のともしび、私の道の光です。詩篇119篇105節」

今日の本文によると、神から人類に与えられたその唯一の神の御言葉が神様のトラ、つまり律法、聖書なのです。まことの神様が我らに約束されたすべての繁栄と成功(神様が言われる成功)の人生を望んでいるなら、この律法の書を口から離さないようにと聖書は命じています。この神様の御言葉が我々の究極的目標と方向を示してくださいます。その神様の御言葉をつかんで生きる方法は二つあります。

①日々神の御言葉を黙想することです。

「このみおしえの書(律法)を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさめ。」(8節)

ここで口ずさむという単語は黙想とも言えますが、本来の意味は「意図的にくり返しつつ深く考えること」です。「黙想」というのはただ文字通り読むだけではありません！その御言葉をじっくり繰り返しながらかみ、噛み砕く(くだ)いて深く考えることです。この御言葉はつねに今の自分の人生に、今日の自身の生活にとどのように関連付けて適用させれば良いのか、祈りつつじっくり考えるということです。

②実際御言葉の通り守り行い、従って生きることです。

「あなたに命じた律法のすべてを守り行うためである。これを離れて右にも左にもそれではならない。8 そのうち記されているすべてを守り行うためである。そのとき、あなたは自分がすることで繁栄し、その時、あなたは栄えるからである。(7-8節)」

神様の御言葉を深く黙想し、自分の人生に照らしていただいた後は、その御言葉のどおりに実際行い生きようと心がけましょう。神の信じる者はみんな聖書がまことの神の御言葉であることも、大切だと知り、信じていますが、しかし、聖書に書かれている神の祝福と御約束が、実際日常生活の中で体験出来ない理由は、その御言葉通りに従って、守り行っていないとそうになってしまうことを今日の御言葉は明らかにして下さっています。

みなさんの人生、家庭、子どもたちが神の約束された豊かな祝福と繁栄を自分のものとして具体的に頂き、体験するための一番、シンプルですが、大切なのは、神の御言葉をそのまま守り行ない、御言葉通り従って生きることしかないことを共に覚えて頂きたいと願います。

「また、みことばを行う人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者となってははいけません。(ヤコブの手紙1章22節)」 「すぐに忘れる聞き手にはならず、実際に行う人になります。こういう人は、その行ないによって祝福されます。(ヤコブの手紙1章25節)」 *申命記2章1-14節中「もし、あなたが、わたしの神、主の御声に確かに聞き従い、私が今日あなたに命じる主の全ての命令を守り行うなら、あなたの神、主は、地のすべての国々の上あなたを高く上げられる。2あなたが、あなたの神、主の御声に聞き従うので、次のすべての祝福があなたに望み、あなたについて行く。6あなたは入る時にも祝福され、出て行く時にも祝福される。13私が今日あなたに命じる、あなたの神、主の命令に聞き従い、守り行うなら、主はあなたをかしらとし、尾(お)とはされない。あなたはただ上になり、下になることはない。(～14節)」

*申命記30章2-5節「あなたの神、主に立ち返り、きょう、私がおあなたに命じるとおりにあなたも、あなたの子どもたちも、心を尽くし、いのちを尽くして御声に聞き従うなら、あなたの神、主は、あなたの繁栄を元どおりにし、あなたをあわれみ、栄えさせる。(新改訳第3版)」

神の御言葉を聞くだけでは終わらず、みなさんの生活に具体的に適用してください。そうすることこそ、みなさんの人生が神の御約束通りにさらに栄えて、成功する唯一道です。愛する信仰の家族のみなさん！神の御言葉をもっと愛し、もっと御言葉と親しくなる必要がありませんか。神の御言葉から離れないことが、神の祝福と繁栄から離れない近道であります！聖書はみなさんの人生、家庭に対しても神の豊かな祝福と具体的な成功のご計画を約束していることを忘れないでください！その祝福の源となる聖書を生かし、用いて下さい。

メッセージを終らせます。愛するクリスチャンプレイズチャーチの信仰のみなさん！緊急事態が今日で終わり、明日から新たな3月が始まります！3月には毎朝、あるいは毎晩、祝福の源となる聖書から離れないで、聖書を愛し、つかんで、御言葉による主の導きと行くべき道を示して頂き、従って歩む幸いなを日々いただくみなさんとなりますようお祈り致します。主の導きを受けて生きる人生は成功する人生です。それこそが祝福です。神様がともにおられる人生、この成功と栄えを体験し、さらに神の祝福を味わう3月となりますよう切にお祈り致します。アーメン！